

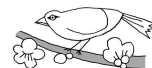
思いやりのある生徒
確かな学力をもつ生徒
心身ともにたくましい生徒



とうだい

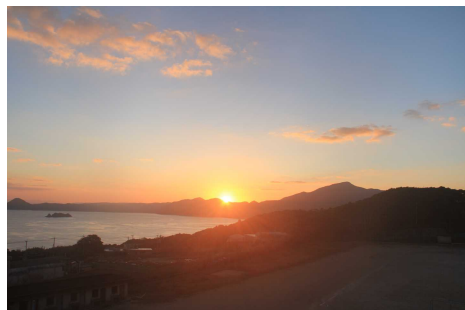
自信と誇りもて歩め

平戸市立
生月中学校



新学期の
スタートに
寄せて

元旦は、天気も良かったので、初日の出を拝みに、どうせならと、日の出を待つたくさんの人で賑わう川内峠を越えて、生月中学校まで来てみました。もちろん誰もいないグラウンドで待ち構えているうちにもどかしくなつて、校舎のベランダから迎えることにしました。7時27分頃、稜線から光がこぼれ令和7年の初日の出を拝むことができました。



あまりにも穏やかな新年の始まりに、ある詩のひと休みという言葉を思い出しました。

元旦に（抄） 井上靖

門松を立てることも、雑煮をたべることも、賀状を出すことも、実は、本当を言えば、よくは判らない。

しかし、これだけは判っている、人間の一生が少々長すぎるので、神さまが、それを、三百六十五日ずつに区切つたのだ。そして、その区切り、区切りの階段で、人間がひと休みするということだ。



松の内も過ぎて、つかの間のひと休みも終わりました。新学期が始まりました。それぞれが十数段目の階段をまた一つ上がったこの節目に、目標を立てることはとても

大切です。新年の抱負、3学期の目標をしっかりと立てましょう。



3学期は終わりの学期であり、始まりの学期でもあります。1年生は上級生になる心構えを持つこと、2年生は、学校の顔となり伝統を引き継ぐ決意を持つことが求められます。そして、3年生は、希望する進路を実現させるために、最後まで油断せずに集中力を保つことが必要です。それぞれが目標を定め、凛とした心もちで、自信と誇りを得るべく歩き始めましょう。

保護者の皆様には、今年も、本校の教育活動にご理解とご協力を

よろしくお願いいたします。生月中学校に関わる皆様にとつて、巳年がみのあるいい1年でありますように。

始業式各学年代表発表

3年 大浦慶大が

中学校最後の学期に、個人の力、集団の力を発揮して、受験において35人全員合格を果たし、生活の締めくくりを行って、完全燃笑を達成する。

2年 谷本莉南が

学校を支える立場になり、受験生にもなるので、学習に力を入れ、生徒会活動でも責任を持つて伝統を引き継いで、信頼される学年になる。

1年 綾香葉月が

まとめである3学期に、提出物の期限を守り、「すぐ聴くよく聴く最後まで聴く」という心構えを持ち、2分前着席に取り組み、一日一日を大切に過ごす。

伝統を引き継ぐ

始業式後、生徒会の引継ぎ式がありました。しっかりと校旗が手渡されました。旧役員のみなさん本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。新役員のみなさん、これからの生月中学校のリーダーとしてよろしくお願いします。



お知らせ

山浦隆伸先生が1月末まで療養のためお休みになります。その間、出口康子先生が3年生の社会科を週3時間受け持ちます。よろしくお願いします。